

ノリ養殖環境速報 KH-30-8 (播磨灘) 平成31年1月17日 発行

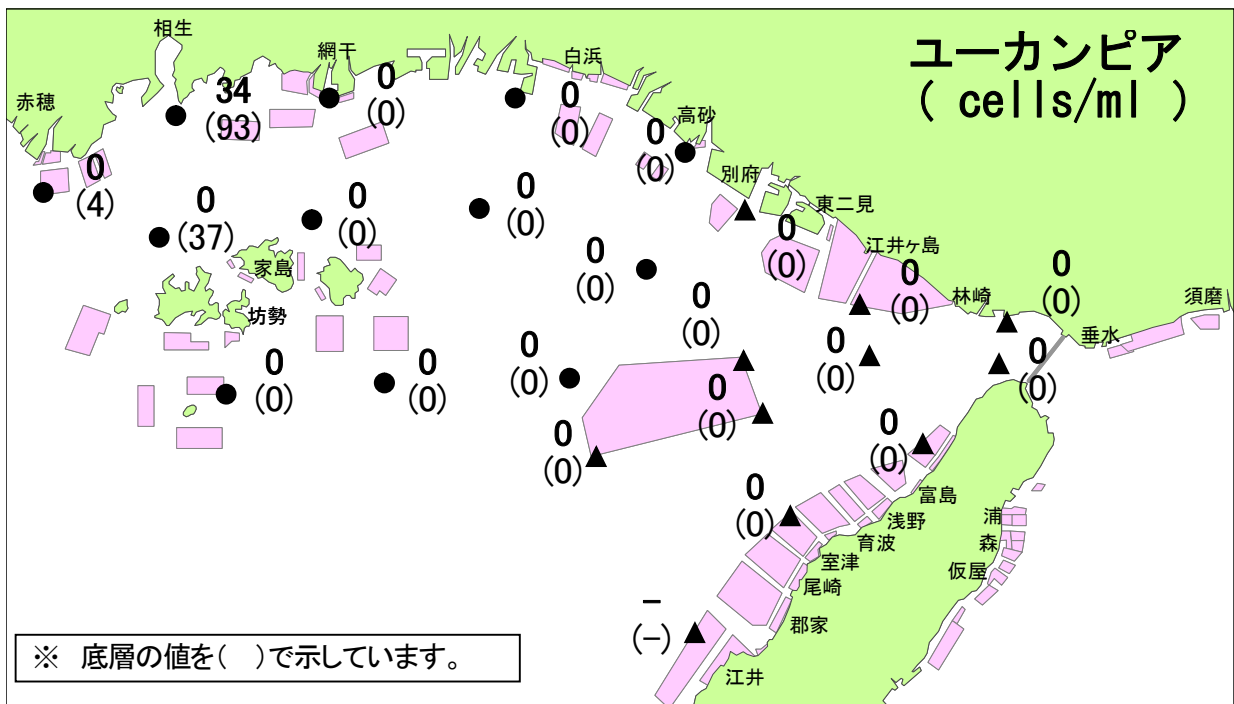
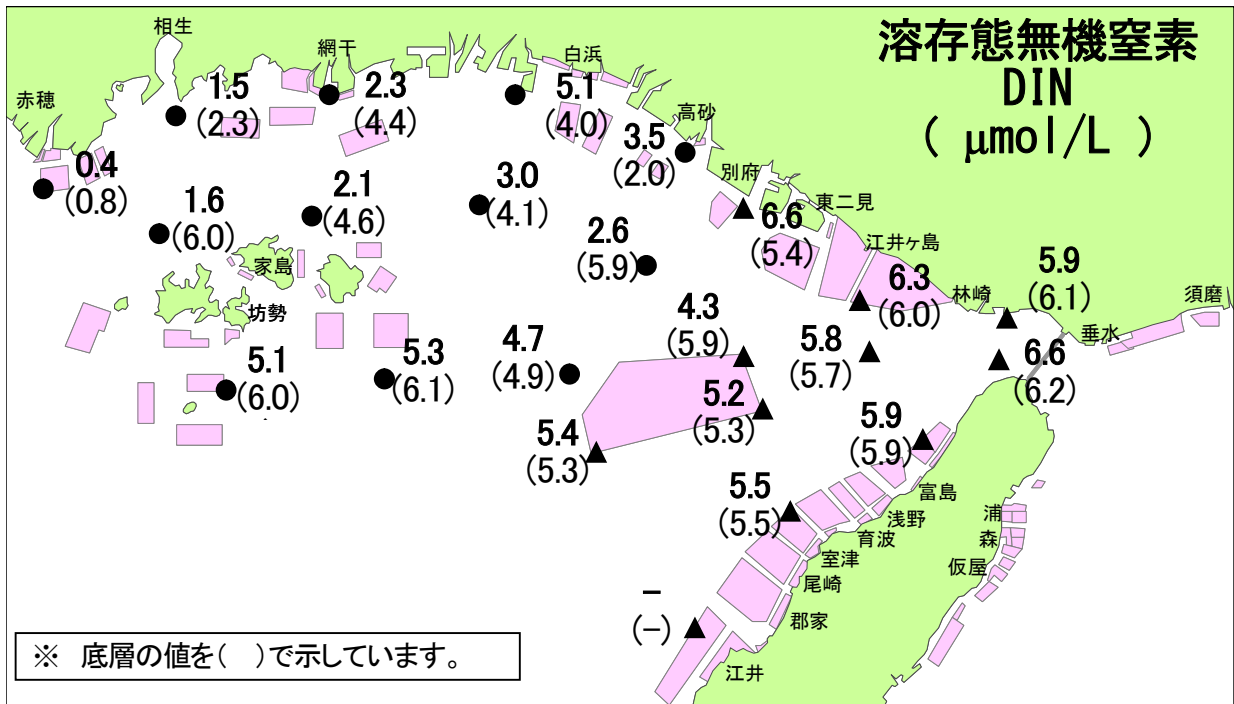
調査年月日：平成31年1月16日

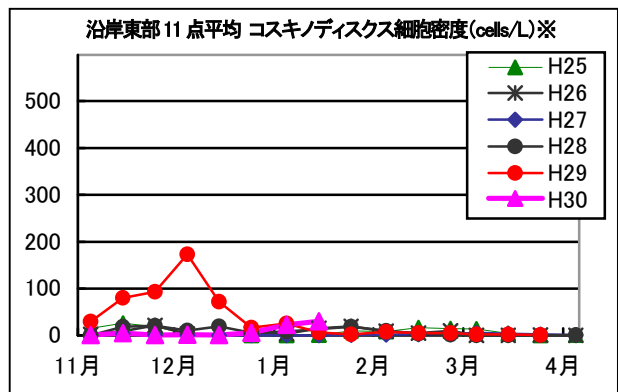
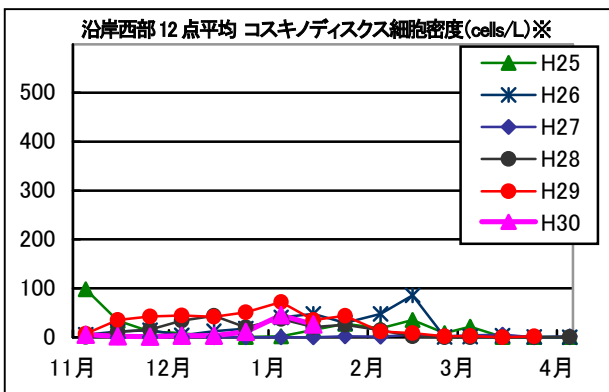
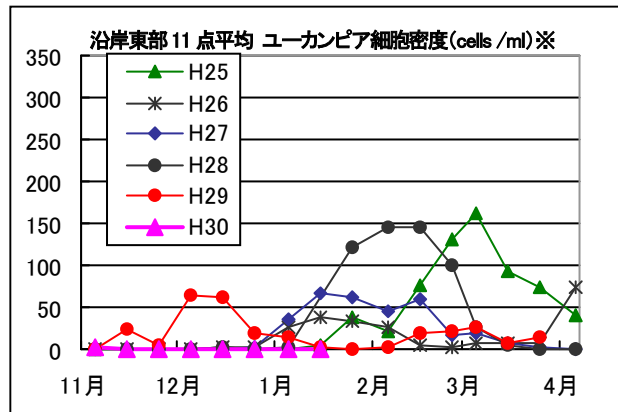
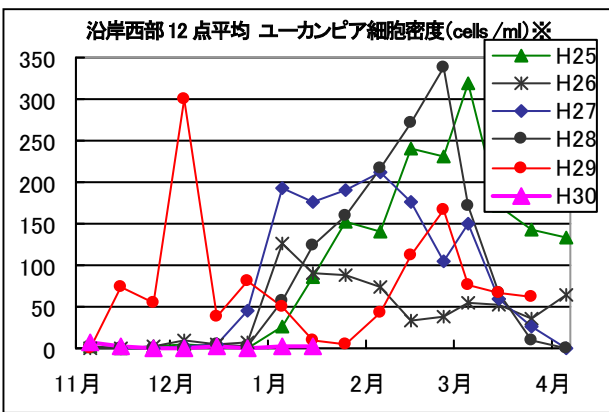
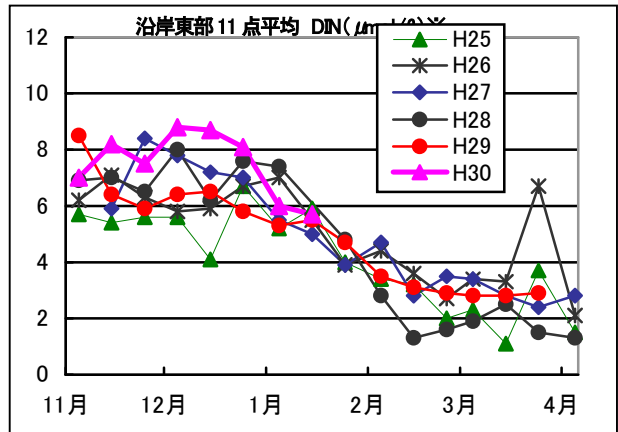
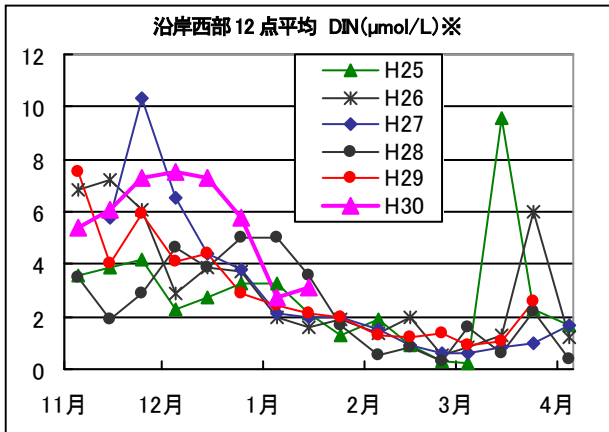
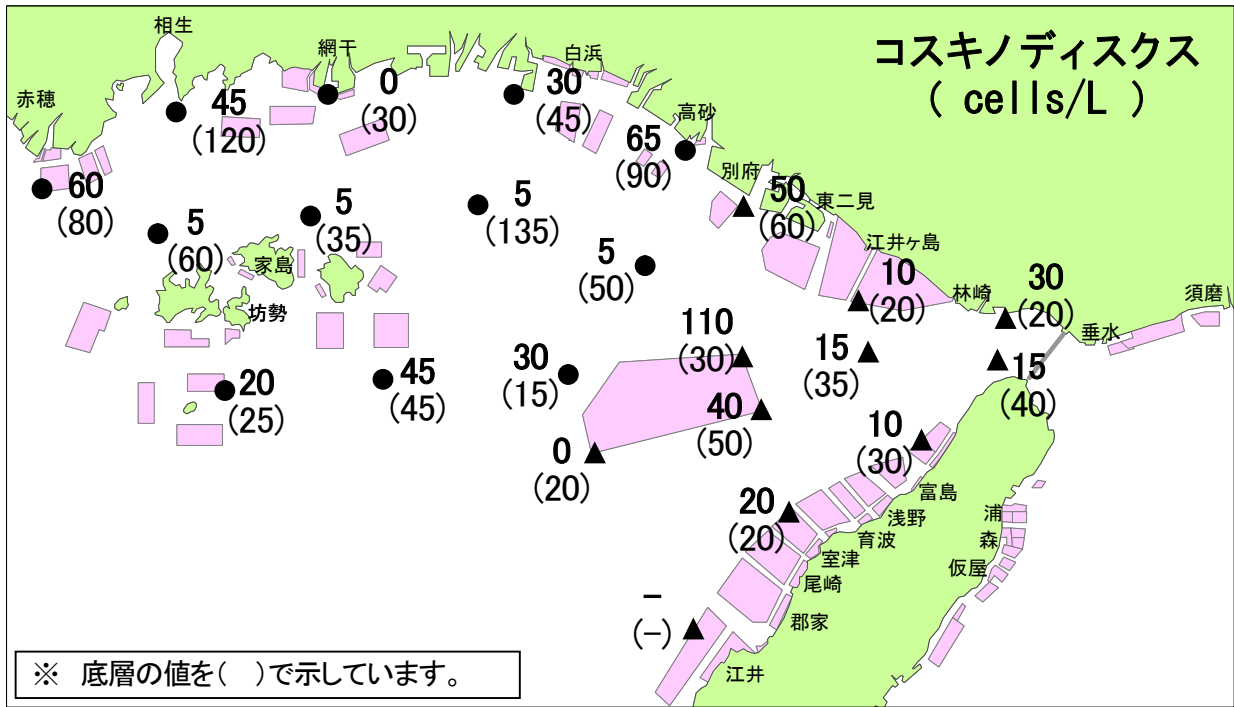
〔調査箇所は地図上に▲(東部)および●(西部)印で表示しています。〕

概況 播磨灘(調査海域)のDIN濃度は、概ね7 $\mu\text{mol/L}$ 以下で推移しています。

大型珪藻のコスキノディスクスワイレーは全域で確認されており、ユーカンピアは北西部沿岸の一部の海域で確認される程度です。

水温は、白浜以西では9.6~12.2 $^{\circ}\text{C}$ 、家島諸島周辺では10.7~12.0 $^{\circ}\text{C}$ 、江井ヶ島・高砂周辺で11.8~11.9 $^{\circ}\text{C}$ 、明石海峡付近並びに西浦では12.1~12.7 $^{\circ}\text{C}$ 、鹿ノ瀬周辺では11.8~12.0 $^{\circ}\text{C}$ でした。





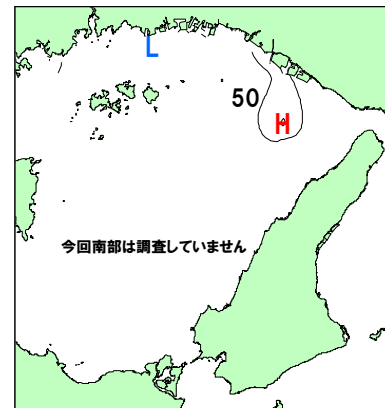
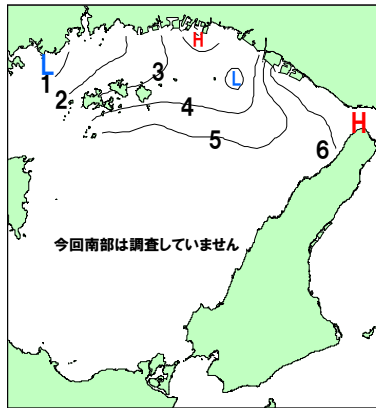
※1: 数値はすべて表層の値です。2: 調査地点は、沿岸東部 11 点は▲、沿岸西部 12 点は●で表示しています。

平成31年1月16日の水平分布状況(表層、実測値)

溶存態無機窒素濃度(DIN, $\mu\text{mol/L}$)

ユーカンピア(cells/ml)

コスキノディスクス(cells/L)



* Hは濃度又は密度が高く、Lは低いことを示しています

播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み

表層の DIN 濃度は概ね $7\mu\text{mol/L}$ 以下でした。高砂以西の北部沿岸域の表層では、概ね $3\mu\text{mol/L}$ 以下となっています。穏やかな天候が続いているため、播磨灘北部沿岸(家島諸島より北の海域)で多く発生していた珪藻類は、底層にヌタ状に沈積する傾向にあります。大型珪藻のコスキノディスクスワイレシーは全域で確認されますが、今後短期間で急激に増加することはないと考えられます。また、ユーカンピアは北西部沿岸の一部の海域で確認される程度でした。今後、シケにより海水が混合した場合には、珪藻類の増殖につながる可能性がありますので、天候の変化にはご注意ください。

大阪管区气象台の週間天気予報では、降水量は平年並みか少ないとされ、西部近隣海域の栄養塩濃度も低下していることから、海域全体の短期的な栄養塩濃度の推移は低下傾向と考えられます。

週間天気予報 気象庁 1月16日 16時32分 発表 ※気象庁ホームページより転載

向こう一週間(1/17~1/23)の近畿地方は、気圧の谷や寒気の影響で雲が広がりやすく、北部では雨や雪の降る日が多い見込みです。中部や南部では高気圧に覆われて晴れる日もあるでしょう。

最高気温、最低気温はともに、平年並か平年より高い見込みです。

降水量は、平年並か平年より少ないでしょう。

その他の情報

- ・岡山県の調査結果は1/7から更新されていません。
- ・香川県の調査については、以下の URL から参照してください。
<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

※栄養塩の単位： $\mu\text{mol/L}$ = $\mu\text{g}\cdot\text{at/L}$ = μM

【今後の予定】

- ・平成31年4月上旬まで毎月3回程度(上・中・下旬)の発行を予定しています。
 - ・次回は平成31年1月24日頃に発行する予定です。
- *この情報は、ホームページでも見ていただけます。以下のURLにパソコン等からアクセスして下さい。
<http://www.hyogo-suigi.jp/>